

7/5・6 各学年弁論大会

両日とも蒸し暑い中でしたが、弁士も聴衆も大変真剣に取り組むことができました。体験を基に、自分が考えたことやより成長したことを原稿用紙にまとめることはなかなか大変な作業です。特に1年生にとっては初めてのことで、一苦労だったと思います。また、自分の考えを全体場で発表することはかなり勇気の要ることです。しかし、自分の考えを分かりやすく伝えることは、これからの学校生活や社会生活において必要なことであり、大切なスキルとなります。代表者は、原稿を何度も推敲し、覚え、練習を重ねて本番を迎えており、どの生徒も堂々と発表ができました。また、聴衆の生徒たちも誠実に耳を傾けていました。「みんなよかった。すごく伝わった。」と感想を伝えてくれた生徒もいました。報道委員による準備運営もきちんとしており、感心しました。

今後も、体験を通して自分の内面と向き合い、自身のこと、家族のこと、友達のこと、将来のことなどをしっかりと考え、周囲に分かりやすく伝えられるようになってほしいと思います。

7/4 1年生、吉備国際大学大学院とのオンライン授業実施

学校教育目標「豊かな心情、自ら学ぶ意欲、たくましい心と体をもった生徒の育成」の「たくましい心と体づくり」という視点から、今年度も『ストレスマネジメント』に関する授業を吉備国際大学の先生にお願いしました。授業内容は本校と事前打ち合わせを行って決め、授業は大学院生が主体で行いました。今回の授業のねらいは、「物事に対する考え方やストレスの対処方法を見直すこと」で、学校適応や対人関係構築を促進し、将来的な心理問題（依存やうつ状態）を予防することです。

【生徒感想】

ストレスが起きるしくみは、出来事、認知、感情の順であり、いいことがあったときもそうだと分かった。自分のユガミンが分かった。少しあてはまったから、いろいろな対処法を考えたいと思った。

一つの出来事で認知(考え方)も違い、感情(気持ち)が変わってくるので、前向きに考えて、ストレスにならないようにすればいいと思った。自分の考え方のクセ(ユガミン)が分かったので、これからの生活に生かそうと思った。

ストレスは怒りだけだと思っていたけど、悲しい、不安、心配もストレスの原因になることが分かった。ユガミンもたくさん種類がいて、考えてみると「自分はこれなんだ」と納得した。人によって考え方も違うと改めて分かった。

「考え方のクセ」で、○はなかったが△はちょこちょこあったから、意識を変えなきゃいけないと思った。そのためには苦手な人を「苦手!!」と決めつけず、広い視野で受け止めることが大切。



7/2 地域行事に生徒参加

「水害伝承の展示会」がマービーふれあいセンターで開かれました。その開会行事の司会と朗読劇「真備水害の歴史」の朗読を本校生徒が行いました。台本をもらってからは、それぞれ自宅で自主練習に励んだそうです。

当日の打合せの時に一部発表内容が変更になり、慌てたのだと後で聞きましたが、そんなことは感じさせないくらい、皆落ち着いた態度で、司会と朗読に取り組むことができました。

